

会 議 録

会議名称	第 11 回柳川市民文化会館（仮称）基本計画検討委員会
日 時	平成 27 年 7 月 28 日（火） 10:00～11:40
会 場	柳川市役所 三橋庁舎 3 階 第2、3、4会議室
出席者	[委 員] 立花委員、姉川委員、草場委員、椛島（道）委員、 安永委員、生田委員、古賀（俊）委員、古賀（理）委員、 壇委員、大橋委員、原委員、勝見委員、今村委員、黒田委 員、古賀（弥）委員、大森委員、齋藤委員 [事務局] 樽見教育部長、袖崎生涯学習課長、野田文化係長、 堤文化係長、生涯学習課文化係 須崎、堤（智） （株）シアターワークショップ 今川
欠席者	[委 員] 武末委員、森田委員、野田委員、椛島（和）委員、
議 題 等	1 開会 2 会議録の確認 3 議題 （1）柳川市民文化会館（仮称）基本計画（案）パブリックコメント の結果について （2）柳川市民文化会館（仮称）基本計画（案）答申について 4 その他 （1）今後の予定について 5 閉会
会議資料	資料① 柳川市民文化会館（仮称）基本計画（案）に関するパブリッ ク・コメント実施結果 資料② 柳川市民文化会館（仮称）基本計画（案）に対するご意見と その回答（案） 資料③ 柳川市民文化会館（仮称）基本計画（案） 資料④ 柳川市民文化会館（仮称）基本計画（案）について（答申） （案）

＜審議結果は次のとおり＞

1 開会

2 会議録の確認

- ・ 11 ページの下から 4 行目、「サザンクスでは」を「可児市では」へ修正。

3 議題

(1) 柳川市民文化会館(仮称)基本計画(案)パブリックコメントの結果について

- ・ 意見 5 と意見 7 の天体観測についての回答が設計段階で積極的に検討するという風に受け止められやすい。基本計画案の表現と整合性を取ったがよい。
- ・ 意見 15 は基本計画とは直接関係はないが、回答が少し冷たい印象。頂いた意見は一生懸命考えて出された意見で、もう少し配慮したが良い。
- ・ 意見 5, 7 は現段階では屋根形状等も決まってないので、記載を変更する。
- ・ 意見 15 は、市で着手予定の「公共施設の再配置等を計画する公共施設等総合管理計画で検討させていただきたい」という回答ができないか協議を進めたい。
- ・ 回答方法は文書で送る。ホームページ上での回答は個人名を伏せて公表する。
- ・ 意見 18 で MICE に対して「検討する」とあるが、市民文化会館には、コンベンション機能は含まれていないのではないか。コンベンションには、ホールのみでなく、分科会を行う会議室も必要。こういう機能を入れることはできるか。
- ・ 規模が小さいので単独で大きなコンベンションの実施は難しい。福岡市では多くのコンベンションが開催されており、その後のアフターコンベンション、小分科会、平土間での産業展示などに使えたらと考えている。会議室は多くないが、水の郷などの施設と連携していきたい。単独でコンベンション誘致は困難だが、会議・展示会等を誘致できると良いと考えている。
- ・ 国際交流程度とした方が良いのではないか。コンベンションには同時通訳設備などが必要。
- ・ 回答に「会議やコンベンション」と書いているのを「会議等」へ記載したい。
- ・ 館の運営収支についての回答がない。
- ・ 地方の文化施設は採算が取れるというのは難しいが、自治体の責務で文化

振興をすすめることが必要なので、至急回答を作成し追記したい。

- ・コンベンションを使わないのであれば「MICEの視点」という表現が気になる。MICEは大規模なコンベンション、国際会議のイメージ。
- ・規模の小さい会議や産業市などのイメージを持ってもらうような記載に改めたい。小型の会議等の事業をやっていききたいという表現に改める。
- ・意見16の回答の「出演者」とは誰か。
- ・鑑賞事業等で有名な方を招聘する際の「舟乗り込み」を想定。
- ・有名な方は空港から直接来て、すぐに帰られる方がほとんど。舟乗り込みのためには前日から来て、事業を翌日に行うというスケジュールになり、可能性は少ない
- ・出演者の舟乗り込みだけでなく、市外からお越しになる方に水上動線も活用して頂きたいという思いがあるので、そういう回答に変更したい。
- ・掘割を利用したホールは全国でも例がない。
- ・白秋音楽祭などの開催時に、駅から臨時の舟を運航して、電車と舟のチケットをセットにして売るなど、柳川の特色を出すことも考えられる。舟着場をステージにして、舟を客席にするなど、利用価値が上がる。
- ・出演者という表現では限定的なので、施設の利用者などに改めた方が良い。
- ・「舟乗り込み」という言葉が一般的か。ホワイエや平土間を言い換えなければならないのであれば、「舟乗り込み」も説明が必要なのではないか。
- ・出演者のみでなく、利用者もチケット販売の一部についているなどの工夫があると面白い。
- ・「舟着場の設置」という文言は回答に残させてもらい、「出演者」を「施設利用者」に修正する。
- ・意見4の回答で言葉が繋がっていない。
- ・「ピアノは備品の購入の段階で」に修正する。
- ・本日が最終の会議なので、他に意見があれば今週中に下さい。頂いた意見は事務局で確認・修正し、会長に確認いただき、答申と合わせ公表する。

(2) 柳川市民文化会館(仮称)基本計画(案)答申について

- ・パブリックコメントの修正を踏まえ、基本計画(案)はこの内容で取りまとめる。基本計画(案)は、委員会から市長に答申いただく。
- ・その他の(2)でオリンピック需要や・・・とあるが、どういう経緯でこうなったなど、情報公開に努めることとしてはどうか。
- ・その他の前に大項目で情報公開の項目を作った方が良い。
- ・設計、ソフト事業も含め、情報公開についての文言を、4と5の間に新たに項目を作って追記したい。

- ・市民ワークショップの参加者は合計で 100 名程度、パブリックコメントは 8 名の意見で、これが多かったのか少なかったのかについて触れてもらいたい。基本設計までに市民の情報の参加ということをきちんとやっておく必要がある。
- ・ワークショップの参加者が少なかった。ほとんどの者は市民文化会館の話を知らなかった。また、管理運営について検討されておらずイメージが湧かない。今後の青写真でも示さないと、ただつくりましたという風にならないか疑問に感じる。
- ・ワークショップの人数等については、フィードバックとしてワークショップの参加者にきちんと伝えてもらいたい。他の事例でも解散してなくなってしまうことが多いので、十分に考えてもらいたい。
- ・アンケートの内容は反映させないのか。
- ・アンケートは、文化振興計画策定の際に使用する。市民文化会館の基本計画(案)に対してのアンケートではありませんので、こちらには載せない。
- ・4 ページの(3)「文化振興基本法」とあるのは、「文化”芸術”振興基本法」なので修正のこと。
- ・本日の意見に基づき修正をし、パブリックコメントの回答と同様に、会長に確認してもらい、その後市長に答申する。

4 その他

(1) 今後の予定について

- ・昨年 11 月からご協力ありがとうございました。今回の会議で基本計画の委員会を終了とさせてもらおう。8 月 3 日に会長・副会長より市長に答申をしてもらおう。
- ・今後の予定は、基本計画の答申後に正式な基本計画という形で公表します。この基本計画を基にし、次のステップである基本設計に入るが 9 月に補正予算を請求して 10 月以降に設計業者の選定に入る。
- ・ソフトの管理運営計画についても議論を行うが、ソフトの計画ができておらず市民の参加も少ない状況にあるので、設計業務と並行する形で、管理運営計画の議論を進めたい。財源の関係でハードが先行してきたが、ハードに追いつくよう今後管理運営計画に力を入れていく。
- ・今年度基本設計に入り、来年度の平成 28 年度に実施設計、平成 29 年度の後半から平成 30 年度に着工したい。詳細のスケジュールは設計者が決定した後に確定する。これも市報等を利用し積極的に市民に開示していきたい。市としては平成 32 年 4 月にオープンしたい。

- ・オープン時にソフトが詰まっていなくて管理運営ができないので、今後の管理運営計画については、プレ事業、現市民会館の終わりの事業なども策定しながら、ハードとソフトを並行して進めていきたい。
- ・ポストに入っていた市議会議員のチラシに、市民会館の予算が40億、その下に管理運営費用は現状が2500万、新市民会館が8250万と明示されていた。議会でそういった回答があったのか。
- ・8000万円の管理運営費という回答はしてない。新しい施設の管理運営費の質問が議員から出たが、現時点でどういった施設を建てるか詳細が決まっていないので、公文協の過去の調査で管理運営費の全国平均は15,000円/㎡という統計上の金額があるという話をした。延べ床面積5,500㎡と示していたので、それに単価をかけて8,000万円程度だという話が出た。当局から8,000万円という数字は出しておらず、管理運営計画の中で詰めていく話したが、それが一人歩きしたのだろう。
- ・私的なチラシではあるが、公表するのはどうかと思う。その辺りは注意して進めて頂きたい。
- ・市民ワークショップに参加された方々は、今後のキーパーソンになる方々で、大事にしてほしい。報告だけでなく、今後の管理運営の話にも参加していただけるといいなと思う。
- ・参加された方々からは、今後もワークショップをやりたいという意見が出たのか。
- ・ワークショップではハード先行という意見、ソフトがまとまっていない中でハードが決まっていくことに納得できないという意見、自分の意見がどう反映されているのか不明、決定権がないので参加しても報われないという意見もあった。ソフト事業の計画の中で必要であれば、今後もワークショップを開催したいという話はしている。ワークショップをどう生かしていくかを管理運営計画では考えていかなければならない。
- ・一度参加した方々に、今後の管理運営計画の際にも参加したいと思ってもらえるような関係の持ち方を考える必要がある。
- ・設計士の思惑でデザイン重視でつくられると困る。近隣のホールで小さいことでも良いので、不都合なことなどをできる限り聞けると良い。
- ・外部からアドバイザーを入れた方が良い。公務員は3年経てば異動があり専門職がない。建築だけでなく使う側の意見、舞台に立つ人の意見を出せる専門の人を入れておかないと、無駄がたくさん出ることになる。
- ・ご意見ありがとうございました。一つ一つの思いを叶えられるようにしたい。ハードに合わせて管理運営でお力添えをいただくかもしれない。ご協力よろしくお願い致します。ありがとうございました。

5 閉会